



すがのもりがくえん にしあわじ 須賀の森学園 (西淡路小学校) 隣接型小中一貫校

所在地	〒533-0031 東淀川区西淡路5丁目5番32号
電話番号	06-6322-5000
FAX	06-6322-4405
校長名	赤江 伸吾
開校年度	平成28年度(元淡路S33、元西淡路S9)



◆学校からのメッセージ

淡路中学校とともに隣接型小中一貫校「須賀の森学園」として、平成28年4月に新たなスタートを切り、今年で10年目を迎えました。淡路中学校・西淡路小学校・淡路小学校の3校で共有していためざす子ども像をもとに、学園訓を「つながり」「がんばり」「あこがれ」としました。



- あ・明るくあいさつできる子
「つながり」の第一歩となるあいさつが、自然とできる子ども
- わ・わかるまで できるまで 努力する子
「がんばり」がきく子ども
- じ・自分を大切に ひとを大切に作る子ども
他者との関わりの中で自尊感情を育み、「あこがれ」を抱き、「あこがれ」られる子ども

◆運営に関する計画

学校教育目標

『未来を生きる力を育てる
～「声」にこだわる ichinen～』

☆めざす子ども像

『にこにこ 笑顔の子』『しっかり 考える子』『あかるく あいさつのできる子』
『わかるまで できるまであきらめない子』『じぶんを大切に 人を大切に作る子』

☆運営に関する計画の具体については、ホームページに掲載しています。

◆令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果から

- ・国語の平均正答率は、全国平均を0.3%ポイント上回る結果となった。特に「書くこと」の領域では大阪市の平均を4.1ポイント上回ることができた。これは令和2年度より学力向上支援事業を活用し、国語科の授業改善を行ってきた成果である。また朝学習や授業の中で、自分の考えを書くことを大切に指導してきたことも改善が見られた要因だと考える。また毎年、学校で漢字検定を受験していることも、子どもたちの基礎学力の支えとなっている。
- ・一方で算数の平均正答率は、全国平均より5.4ポイント低い結果となった。朝学習や放課後学習等でくり返し計算問題に取り組んできたこともあり、「数と計算」の領域での正答率が伸びている。しかし、なぜその答えとなったのか説明したり、証明したりすることが苦手で、授業改善の必要がある。
- ・「課題（めあて）をつかむ」、「見通しをもって考える」、「ペアやグループでの交流を通して考えを広げたり理解を深めたりする」授業を展開し、「主体的・対話的で深い学び」を大切にします。

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	68	58

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

- ・男子の体力合計点は、全国平均を1.3ポイント下回る結果となった。女子の体力合計点は、全国平均を1.68ポイント上回る結果となった。大阪市平均との比較では男子が0.1ポイント、女子が3.13ポイント上回る結果となった。
- ・「長座体前屈」においては男子、女子ともに全国平均を上回った。逆に「上体起こし」「立ち幅跳び」については男女ともに平均を下回った。
- ・児童質問紙の結果から、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が全国平均に比べて多く、運動習慣がない児童の体力の低下が懸念される。一方で地域のスポーツクラブ等に参加し、日常的に運動する習慣のある児童は、やはり体力合計ポイントが高い傾向である。
- ・楽しい体育科の授業を行い、全校でのかけ足週間、なわとび週間等を設定し、運動に親しみながら体力の向上を図っていきます。

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	15.94	18.64	40.09	37.82	42.42	9.52	148.06	16.78	51.23
女子	17.62	17.19	44.14	38.50	40.24	9.78	137.43	14.33	55.6

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆学校行事の内容

- ◇運動会 6月の日曜日 低中高学年で合同演技
- ◇自然体験教室(5年生) 9月 2泊3日【六甲山方面】(R7年度は7月に実施)
- ◇修学旅行(6年生) 10月に1泊2日【ヒロシマ方面】
- ◇たてわり班活動
 - ・児童集会 たてわり班でゲームなどを通して交流を深めます。
 - ・須賀の森子どもまつり(6月) たてわり班で遊びのコーナーを企画・運営するおまつりをします。
 - ・全校遠足(秋・年1回) 6年生がリーダーとして、1～5年生をつれてオリエンテーリングをします。
- ◇学習発表会・作品展 1年ごとに開催します。(今年度は、作品展をします。)
- ◇ゲストティーチャーを招いての学習
 - ・プロフェッショナルから学ぶ(キャリア教育)をすすめます。
 - ・被爆体験者講話、車いす・アイマスク体験などの機会を設定し、当事者からお話をうかがう学習を大切にします。
- ◇地域行事への参加
 - ・東淀川ドコドコドン(和太鼓演奏会) ・AWAKYOカーニバル(淡路地域教育協議会主催) など

◆小中一貫教育

- ◇教科の学習等における中学校施設の活用(生活科・理科の自然観察、体育の学習、クラブ活動など)
- ◇6年生の中学校登校
 - ・6年生が直接中学校へ登校し、中学校の教室で授業を行います。
 - ・授業には中学校の先生が支援等に入ります。
 - ・文化祭や集会活動などにも参加しています。
- ◇須賀の森クラブトライ
 - ・年に3回、6年生が中学校の部活動を体験し、先輩たちに教えてもらいます。
- ◇合同あいさつ週間
 - ・小学校の児童会、中学校の生徒会が中心となって登校時のあいさつ運動を行っています。
- ◇中学校教員とのチームティーチング
 - ・月に数回、中学校の教員が小学校の教室に教えに来てくれます。
 - ・中学校へ進学してから知っている先生がいるので子どもたちも安心です。



◆ICTを活用した教育の推進

- ◇学習者用端末・タブレット端末等を活用して、情報処理能力やコミュニケーション能力の育成にあたり、『主体的・対話的で深い学び』につながる授業づくりを進めます。
- 大型ディスプレイの活用
 - ・教室では、学習者用端末・タブレット端末をテレビと接続し、子どもたちが自分の考えを伝えたり、友だちの考えと比べたりすることにより、思考を深めることに役立てています。
 - ・ひとり一台端末を活用した授業を行い、「楽しく・分かりやすい」学びを大切にしています。
 - ・子どもたちがひとり一台端末・タブレット端末等を使う場面を多く設け、活用能力を高めています。
 - ・子どもたちの理解度に合わせて、学習補助教材としてもタブレット端末等を活用しています。
 - ・「心の天気」という機能を使って、子どもたちの気持ちの変化を毎日確認しています。



◆「あこがれの継承」を大切にしたい取り組み

- ◇上級生の姿を見て、「自分たちもカッコいい頼られる上級生になりたい!」と思える子どもたちを増やしたいと考えています。「なかま」との関わりの中で、自尊感情を育み、「あこがれ」を抱き、「あこがれ」られる子どもの育成に力を入れています。
- たてわり班活動の充実
- 運動会での2学年合同演技(低・中・高)
 - ・練習時、上級生が下級生をリードします。
- 児童会活動、委員会活動
 - ・運動会やあいさつ運動など、学校生活の様々な場面で活躍
- 下級生の子どもたちへ…
 - ・6年生が1年生の教室へお手伝い&遊びに…
 - ・2年生が手作りの「おもちゃランド」に1年生をご招待など…

